

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第27回助成事業 審査講評

### U23 チャレンジ部門・春

#### < 5-1 三茶よいしょチーム >

- ・地元の商店街などと一緒にすでに確立されたお祭りを、学生が主体で引き継いでいくことは本当に大変なことだと思います。ただすでに7回開催され定着していることで、協力してくれる団体や大人の人もたくさんいると思いますので、色々な人たちの力を借りながら、ぜひ成功させてください。また、1年だけのチャレンジとせず、今後どのように継続していくかについても意識的に考えていただけるとよいと思います。

#### < 5-2 学生団体コマフク >

- ・福祉は成長分野にも関わらず、担い手不足など様々な課題を抱えています。学生の皆さんが、自主的に情報交換を行い、福祉の関心を広げる活動に強く共感いたします。一方で、情報交換に留まらず、得られた知見の発信もご検討ください。得られた知識の共有ではなく、皆さん自身の言葉で、福祉に関心のない学生が、福祉を魅力的だと思える「福祉の仕事のキャッチコピー」を考えてみてください。一言で、魅力を伝えられるかどうかは、活動を伝播させる上で、とても大切な要件だと思います。

#### < 5-3 JK防災広め隊 >

- ・高校生が自分たちの住む街の防災に関心を持って行動する事はとても素晴らしいです。世田谷区、消防署、区議も若者が地域の安心安全の為に行動する事に応援してくれるはずなので遠慮せずにどんどん相談しに行ってください。防災には自助・共助・公助の三助があります。皆さんが行動を続けていくことで共助の意識が高まる事を期待しています。頑張ってください。

#### < 5 - 4 ハコブネ >

- ・コミュニケーション力としての演劇の力を多くの人に届けたいという活動は、広げ方によっては無限の可能性があるとと思っています。ただ、多くの人々が「演劇」と聞くと、それだけで「＝お芝居を作る」と思いがちですので、「演劇＝お芝居」と思われたい企画の名称づくりや説明づくりが必要かもしれません。

また、敷居を低くするためには、自分たちの開催する企画に来てもらうだけでなく、地域の活動などに出向いて体験してもらう方法も有効です。皆さんの伝えたいコミュニケーション力としての演劇は、場所を問わず、その活動に合わせての実施も考えられると思います。地域活動の皆さんと相談しながら進めてみてください。